

(様式1)

教育研究業績書		
2022年5月1日		
氏名 岡田 信子		
研究分野	学位	
基礎看護学、臨床看護学	修士(看護学)	
研究内容のキーワード		
多職種・多部門連携、リフレクション、看護のアイデンティティ		
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1. 教育方法の実践 1) 「基礎看護方法論ⅠⅡ」における主体的な実習室演習・自己練習の場づくり 2) 「基礎看護学実習」における臨地実習指導 3) 「看護援助実習」における臨地実習指導	2019年2月・8～9月 2020・2021年2月・8月～9月	・看護援助の実践場面では「準備－実施－後片づけ」までが看護技術展開のプロセスとして位置づけられる必要があり「準備－実施－後片づけ」を実習可能な実習室配置を行ってきた。初めて看護学生として患者の前に立つ学生が何を感じ、何を認識するのかを確認しながら、看護の価値や意味をその学生なりに実感できるような関わりをしてきた。明文化された実習目標や目的だけではなく、一人一人の固有の体験に、学生と共に育む学びの意味があると考え、共に振り返りながら学生指導を行っている。 ・2年生の看護援助実習では、臨床に看護学生が自らの力を自分から投入したいと思えるような支援を模索するとともに、看護過程という科学的思考を用いた看護実践を、看護技術を用いて実践するという次の段階を経験できるよう関わっている。また学生の学びを促進するために、臨地実習指導者や他領域の教員との連携を大事にしてい
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1. 資格、免許等	1996年3月	看護師免許
2. 所属学会		日本看護学会 日本看護科学学会 日本看護歴史学会 日本赤十字看護学会
3. 実務の経験を有する者についての特記事項 1) 看護保健委員会：学生の健康管理、特に予防接種に対する教育的指導 2) 学生サービス委員会：学生生活の充実に向けた行事運営に向けた準備と運営	2019年4月～現在  2021年4月～現在	・看護学部1・2年生に対する、心身の健康維持に関する教育的支援および予防接種計画への教育的指導を行っている。 ・学生支援のねらいを明確化し、学生が主体的に学友会活動運営および参加体制づくりの支援を行っている。また、ホームカミングデイ担当者として、卒業生同士、教職員との継続したつながりをもつ目的でオンラインでのホームカミングデイを企画・運営した。

(様式2)

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文) 多職種・多部門連携における内視鏡看護師が役割を見出すリフレクションのプロセス	単著	2021年3月  2021年12月	日本赤十字看護大学大学院修士論文(全70ページ)  第41回日本看護科学学会学術集会	多職種・多部門連携における内視鏡看護師が、看護独自の役割を見出していくプロセスを明らかにすることを目的とし、内視鏡診療に従事する看護師8名を研究参加者とするアクションリサーチを行った。先行して行った個別リフレクションは、自身の気がかりな経験を言語化し、看護の意味を自問する機会となった。全体リフレクションでは、研究参加者の気がかりや疑問から発した前処置不良例を中心に話し合いが持たれ、高度な診療補助技術の求めに応答しながら、限られた時間の中でたえず患者に関心に向け実践していく内視鏡看護師の専門性が共有された。研究参加者は粘り強く対話を続けることによって、患者に関心を寄せている自分に気付き、「生活する患者にとって」の検査・治療の意味をとらえ直し、多職種・多部門連携における患者の代弁者としての役割を見出していった。